



そしん

第47号



発行/社会福祉法人 素心会
 責任者/事務局長 高瀬 尚人
 〒259-0103
 神奈川県中郡大磯町虫窪 39 番地 1
 TEL.0463-71-1255
 レイアウト・印刷 貴峯荘ワークピア



デイセンタークラブ活動について

素心デイセンターでは、余暇活動として講師を招きクラブ活動を自由参加で実施しています。

素心デイセンター 勝俣 恵子



がら、「絵画」では好きな芸能人や静物を描いたり、想いのままにクレヨンをはしらせたり、「書道」では毎年、納涼祭の看板を担当してくれています。「ジャズダンス」は、腹筋を動かす基本的動作から曲に合わせたダンスまで元気に体を動かすなど、このクラブも毎回、笑顔いっぱい楽しく活動しています。

皆さんが楽しみにしている活動の一つにクラブ活動があります。音楽系では「音楽」と「パーカッション」があります。歌や太鼓など中心になる活動が多い、参加する方も少しずつ違いますが、大きな声で歌ったり、太鼓をたたいたり、曲を聞いたりそれぞれ楽しめ方をしています。



虫窪24番地
 素心学院 飯田 朋己
 昨年、ブータン王国ワンチュク国王夫妻が国賓として来日されました。ブータンはインドと中国に挟まれてネパールの東に位置する小国です。人口70万人、面積九州程度、GNPは世界150位台だそうです。前国王が提唱した、GNH (Gross National Happiness) 国民幸福度、世界第一位とのこと、国民の96パーセントが幸福ですと答えているそうです。さて、我々日本人はどうでしょう。物質文明に冒され不況の波にさらされている現在、幸福ですと心から答えられるでしょうか。各々、幸福の尺度が違うので一概には答えられないと思います。今回のブータン国王来日を機に、幸福とは何か、再考させられる契機となりました。翻って、素心会利用者の皆様は幸福なのだろうか、楽しいだろうか、日々が送れているのだろうか、一人一人に問いかけてみたいと思います。

理事会・評議員会の動き

●第二十二回評議員会
 平成二十三年五月二十一日(土)
 一 平成二十二年事業報告を承認。
 二 平成二十二年決算及び積立処理を承認。
 三 育児・介護休業規程の一部改正を承認。
 その他、監事監査について報告した。

●第二十三回評議員会
 平成二十三年十月二十日(木)
 一 社会福祉法人素心会施設整備等特別委員会規程の一部改正を承認。
 二 児童デイサービス等施設拡充整備事業計画を承認。
 三 児童デイサービス等施設拡充整備事業に係る施設整備等特別委員会委員の選任を承認。
 四 平成二十三年度第一次補正予算を承認。

●第一六一回理事会
 平成二十三年十月二十日(木)
 一 四号議案及び報告事項まで評議員会と同じ。
 ●お詫び
 諸事情により今号の発行がたいへん遅くなりましたことを心よりお詫び申し上げます。 広報委員

後援会会員募集

- 会費は個人一口、年1,000円から法人・団体一口、年10,000円から
- 会員には、新聞「そしん」をお送りします。
- 行事のご案内などをします。

会費の納入先
 銀行振込は
 中南信用金庫国府支店
 014-0139723
 郵便振替はこの郵便局でも
 00270-0-19507です。
 □座名は
 社会福祉法人素心会後援会
 会長 鈴野七郎

※新しく会員になる方は
 ご住所を電話等でお知らせ
 いただくようお願いいたします。

事務局
 〒259-0103
 神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1
 素心会後援会
 TEL.0463-71-1255
 FAX.0463-73-0009

素心学院	神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1	TEL. 0463 (71) 1255 FAX. 0463 (73) 0009
素心デイセンター	神奈川県中郡大磯町虫窪 18-1	TEL. 0463 (71) 1256 FAX. 0463 (71) 1284
さざんがホーム	神奈川県中郡大磯町国府本郷 1308	TEL. 0463 (61) 1519 FAX. 0463 (61) 1519
かもめホーム	神奈川県中郡大磯町大磯 1370 - 23 コープKY2F	TEL. 0463 (61) 5404 FAX. 0463 (61) 5404
つばきホーム	神奈川県中郡大磯町国府新橋 482-1	TEL. 0463 (71) 0990 FAX. 0463 (71) 0990
シーベルホーム	神奈川県中郡大磯町大磯 2232	TEL. 0463 (61) 5281 FAX. 0463 (61) 5281
地域支援センターそしん	神奈川県中郡大磯町虫窪 18-1	TEL. 0463 (70) 3577 FAX. 0463 (72) 2577

素心会事業所 アドレス

編集後記
 三年ぶりに編集に携わることとなりました。よろしくお願ひします。最近では写真の撮影に興味を持つ方がいます。利用者の皆さんの日常をより魅力的に撮れるように腕を磨いていきたいと思ひます。いつの日か、紙面にてご紹介する機会が得られればうれしい限りです。
 素心学院 大野裕史
 去年の世相をあらわした漢字は、東日本大震災やニュージールランド地震、タイ洪水といった自然災害で人々のつながりを感じた「絆」でした。自分も絆を大切に日々努力しなくてはと感じました。
 事務局総務課 伊佐友志
 震災以来、色々と心境の変化があった。緊急時どのように行動すべきか考えるようになった。普段何気なく生活できることは幸せなことだと実感させられた。復興、原発、まだまだ問題は山積みだが、日本人として前を向いて歩いていきたい。
 素心デイセンター 小清水後介



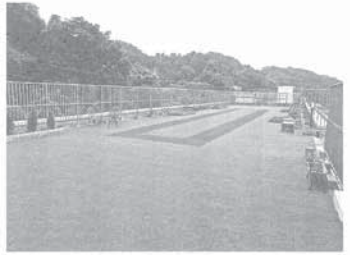
そしんちびっこ太鼓



地域支援センターそしん
佐藤 秀祐

和太鼓を活動に取り入れ2年目。今では子どもたちが一番興味を持って取り組む活動になりました。昨年は、納涼祭でのステージのほか、他施設より演奏依頼を頂くこともあり、少しずつですが知っていただく機会も増えてきました。お年寄りの方々を前に少し緊張した様子も見られましたが、手拍子の後押しもあって元気に演奏することもありました。

「元気に楽しく」がモットーのちびっこ太鼓。演奏技術はまだまだですが、今後も活動のプログラムとしてだけでなく、太鼓を通して地域との交流を図り、子どもたちの「元気」をお届けできる機会が今以上に増えることを願っています。



素心学院屋上整備

平成22年8月下旬、その日も屋上は、夏の強い日射に焼けてコンクリートは高温になり、歩けない程の状況にありました。環境整備委員会、素心学院屋上の断熱・省エネ効果の期待と素心学院利用者などの活動の場憩いの場になることを目的に平成22年度から企画し、進めてきました。

平成23年8月学院屋上が緑色に大変身。人工芝の心地よい感触と、広々とした空間。利用者の方も延び延びできるようで、活動中もついついここで休憩したくなるようです。是非とも一度奮足で歩いてみてください。



法人事務局 瀬戸 洋平

井上直美さん 学院からホームへ



素心学院からホームへ生活の場が変り約1年がたちました。ホームでの生活を始めた当初は通勤方法や慣れない人間関係により緊張した様子が見られていましたが、今では落ち着いて生活している姿を見て安心しています。直美さんにホームでの生活について尋ねると「ゆっくりコーヒーを飲むことができる」「一人で静かに部屋でテレビを見ることが出来る」という答えがありました。また、週末に温泉が買

地域支援センターそしん 高山 和宏

デイセンターについて



就労継続支援B型事業

素心デイセンター 鈴木 淳也

平成19年度より障害者自立支援法に基づく新たな事業形態として就労継続支援B型を開始して早5年がたとうとしていきます。開始当初は15人でしたが現在は19人の方が利用されています。作業内容は大磯町環境美化センターにおける不燃物や発泡トレーなどの分別作業、特別養護老人ホームや町立子育て支援センター内の清掃、素心学院内の浴室掃除、洗濯作業、製パン作業、ネコクサ作業と皆さん、各々の持ち場で取り組んでいます。工賃は仕事の内容に応じて支払われており、毎月10日が支給日になっています。皆さん、お給料日とても楽しみにされています。「今日の帰りは〇〇買って帰るんだ」と、うれしそうな笑顔が見られます。少しでも多くの工賃が支払え、本人がより充実した生活が送れるように支援していきたいと思



生活介護事業 日中の作業

デイセンターでは現在、牛乳パックを再利用したハガキ作り、スツール作り、試行中ではありますが、機織り、藍染めといった自主製品作り、古いCDやビデオの分解、旅館に納めるタオルといった下請け作業と大まかに2種類の作業を行っています。また昨年からは、グラウンドに花を植えるその管理も新たな作業として取り組んでいます。年数を経ることで上達していく、以前はできなかったことができるようになった、新たな発見があるなど、利用者により進捗はありますが、どんなにも進歩・向上が認められます。利用者職員一緒に今後力を含めて取り組んでいきたいと思



素心デイセンター 石森 健太郎

送迎バス

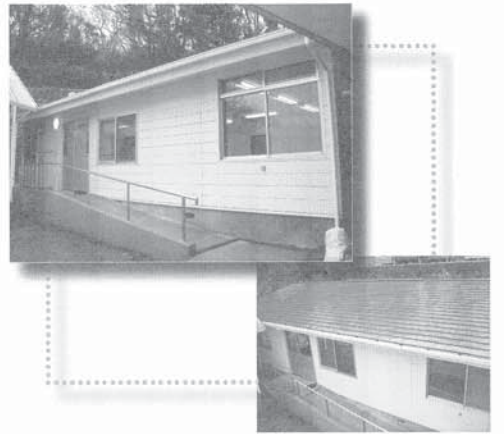


素心デイセンター 小清水 俊介

素心デイセンターでは、マイクロバス3台とワゴン車2台を使用して送迎を実施しています。マイクロバスには運転担当の支援員を4人配置しており、中には動続12年以上の大ベテランもいます。この4人は毎朝、洗車をしてバスをピカピカにしています。皆さんのお迎えに出発して送迎車内では、ラジオから聞こえる歌や天気のこと、お昼ご飯の献立、デイセンターや家での出来事、様々な話をしながら過ごしています。これからも安全運転に努め、楽しく運行してまいります。



地域支援センターそしんの拡充整備



平成23年度障害者自立支援整備事業の助成を受け、地域支援センターそしんの建物を拡充しました。地域支援センターそしんで実施している児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業(旧児童デイサービス事業)は、年々利用ニーズが高まり建物の狭いさが限界にきていました。障害特性の異なる子どもたちが一緒に過ごしていることで、行動面の違いによるリスクも高まっていました。そこで、隣接する物置として使用していた建物(旧木工室)を改修し、子どもたちの活動場所の拡充と安全性を高めることを目的に本事業を実施しました。工事は、黒部設計事務所、西山建設㈱により平成23年12月に着工し平成24年2月末に完了、総工費は15,603千円で神奈川県より12,031千円の補助金をいただきました。このことにより、児童の障害特性による活動場所のすみわけが可能になり安全性が高まりました。また、新たな利用希望にも対応できる幅が広がり地域の障害児支援にとって、大きな効果となりました。

素心学院

原田 慶平



平成23年4月1日付けで新採用となり、素心学院に配属となりました。日々の業務に追われる毎日ですが、上手いかなかった業務がスムーズにできるようになったり、利用者の皆さんの個性を発見していく中で充実した日々を過ごしております。素心の利用者の皆さんはエネルギーが豊富で、いつもエネルギーをもらっております。上司からは未熟者の私に、皆さんのことはもちろん、仕事の進め方について厳しく指導されています。これからも利用者の皆さんと保護者の方々や先輩職員に支えられているという気持ちを忘れずに業務にあたりたいと思います。また、私は写真に興味があるので、業務の合間をぬって利用者の皆さんの様々な表情を記録しようと思っています。よろしくお願いします。

素心学院

内山 泰祐



このたび、平成23年4月1日付けをもちまして、地域支援センターそしんから移動になりました。新しい職場では戸惑うことばかりの毎日ですが、初心にかえって頑張ろうと思っています。よろしくお願いします。

地域支援センターそしん

西畑 宏和



素心会に入職し10年目、地域支援センターそしんに異動となった。学院では支援員として利用者の思いや要望の実現に向け努めてきた。地域においても変わらぬ姿勢で相談者のニーズに応えていきたいと思う。

素心学院

小林 雪友



デイセンターから学院へ異動というより、8年ぶりに戻ってきました。しかし、建物が変わり、業務も変わっていったのでまた初心に戻り支援をしていきたいと思っています。

素心デイセンター

宝利 尚太



素心デイセンターへ来て約1年があつという間に過ぎた。利用者の方前・特徴をまず覚え、保護者の方の前・特徴、仕事の流れ、職員の方前・特徴など覚えることは山積だ。覚えるより覚えられたということですが、今年も努力しますのでよろしく。

家族ヘンリリー

素心学院



功宜が素心学院に入所するとき彼の反応が心配だったので、素心での約3年間のショートステイの経験もあることから、親がびくつきするほどしっかりと受け止めてくれ、帰りがけには親の方が「バイバイ、元気でな」と声をかけられる始末。その後毎月の一時帰宅でも家に帰れば今までの行動パターンに、学院へ戻れば学院での行動パターンに直ぐに切り替わる。これは素心の皆様に支えられ功宜が自分の居場所はここはつきり心に留めているからだと思えます。自己

武宮 功宣(のりたか) 武宮 俊正(ひさし)



閉症の特徴である自分の領域にこだわりを持つ傾向がありますので、今後色々問題が出るかもしれませんが、よろしくお願ひします。

家族ヘンリリー

素心デイセンター



デイセンターにお世話になつた3年がたちました。この3年で身長も伸び、怒るときも見上げながらです。養護学校卒業後進路については悩ましましたが、以前から希望していた素心デイセンターへの実習が「絶対に行かせる」と強く思いました。「絶対に行かせる」と強く思いました。「絶対に行かせる」と強く思いました。「絶対に行かせる」と強く思いました。「絶対に行かせる」と強く思いました。

芝原 嘉秀(よしひで) 芝原 美智子(みちこ)



「休みたい病」が出たときや母が疲れたときは、お休みして自宅で休養、デイセンターに入る時に決めたこと「無理をせず長く通って楽しい思い出をたくさん作りあげたい」を続けていけるよう頑張ります。

家族ヘンリリー

支援センターそしん



小学五年生の沙和子は、週一回の児童デイサービスを利用しております。沙和子は、ダウン症で小学校の支援級に籍をおき、普通級へ交流に行っています。たくさんのお友達の中で、集団生活のルールを学んでいます。時間に間にあう、一緒に行動する、そうじ、給食当番等々自分の役割を果たすという沙和子にとって身につけるのは大変なことですが、本当に色々ありむすびあいますが、良くも悪くもたくさん

石黒沙和子(さわか) 石黒 芳江(よし)



の体験をしているのは、ま